

# 第 50 期 事 業 報 告 書

平成23年度〔平成23年4月1日から  
平成24年3月31日まで〕

**財団法人 明治安田厚生事業団**

東京都新宿区西新宿一丁目8番3号



# 目 次

I. 平成23年度 概況	1
II. 事業別概況	2
III. 貸借対照表	9
IV. 正味財産増減計算書	12
V. 財産目録	18
VI. 評議員会に関する事項	21
VII. 理事会に関する事項	23
VIII. 出版に関する事項	28
IX. 寄附に関する事項	28
X. 平成24年度事業計画	29
XI. 平成24年度事業別計画	30
XII. 平成24年度収支予算書	32



# I. 平成23年度 概況

平成23年度は、明治安田生命グループの社会貢献活動の一翼を担い、広く一般の健康増進に寄与するため、以下の活動を展開した。

体力医学研究事業では、「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」の活動を推進した。「運動が脳機能・睡眠・ストレスに及ぼす影響」ならびに「ライフステージに応じた運動の効果」について検討し、年間を通じた学会発表、論文、報告書の総数は39題を数えた。さらに、東日本大震災の被災者に対するメンタルヘルスケアのための運動プログラムを作成し、被災地にて支援活動を実施した。

健診事業では、定期健康診断に婦人科・乳腺検査をセットにした新規健診コースなど、受診者および健康保険組合のニーズに対応する各種健診コースの開発をはじめ、区民健診の受け入れ態勢を整備したが、従来の人間ドックのコースの受診者数は681人減少、全コースでは前年度を243人下回る、15,398人となった。また、各種健診コースの開発にともない、検体検査の外注化にも着手し、コスト削減を図った。さらに健診センター内に学術室を開設し、健診データを活用し、体力医学研究事業ならびにウェルネス事業と連携した健康増進のための調査・研究の三位一体態勢の確立に努めた。なお、東日本大震災の影響により、新宿区に避難している被災者を対象に「まごころ健診（無料）」を開設し、ウェルネス事業の「リラックス&リフレッシュ」プログラムと合わせ40人が受診した。

ウェルネス事業では、「社会に貢献できる健康づくりコンサルタント活動」に努め、とくに生活習慣病の予防・改善を目的とした健康づくりプログラムを実施した。健診センターの人間ドック受診者を対象とした「健康支援室」では、人間ドック受診時に前回結果に応じた生活改善を促し、より早期の健康づくり支援を実施した。また、東日本大震災被災者支援として「まごころ健診（無料）」受診者を対象に健康支援として「リラックス&リフレッシュ」プログラムを定期的で開催した。

これらの活動総回数は730回、参加者総数3,455人であった。

研究助成事業では、第28回健康医科学研究助成を実施し、今回より指定課題研究を新設した。145件（指定課題：33件、一般公募：112件）の応募の中から選考を経て15件（指定課題：5件、一般公募：10件）を選出した。また、第27回論文集を発行し優秀賞1件を選定した。

## Ⅱ. 事業別概況

### 1. 体力医学研究事業

#### 1. コアスタディ「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」

- ア. 運動と脳機能
- イ. 精神疾患と運動療法
- ウ. 低強度運動が生理応答に及ぼす影響
- エ. 抑うつに及ぼす職業性ストレス・身体活動の影響
- オ. 運動あそびプログラムの効果検証

#### 2. 研究室別研究

- ア. ストレス反応の客観評価
- イ. 運動支援ボランティア活動
- ウ. 保育環境と外傷
- エ. 運動と家族機能
- オ. 姿勢制御機構

#### 3. 外部機関との共同研究

- ア. 高齢者の軽症うつ病と運動
- イ. 運動の社会的効果に関する研究
- ウ. 職域におけるストレス対策

#### 4. 学会・研究会活動

- ア. 研究発表
  - ・コアスタディ：12 題
  - ・研究室別研究：17 題
  - (1) 国内学会（合計 27 題）
    - ・日本体力医学会：8 題
    - ・日本体育学会：1 題
    - ・日本公衆衛生学会：7 題
    - ・日本健康教育学会：3 題
    - ・日本産業衛生学会：1 題
    - ・日本疫学会：1 題
    - ・日本放射線技術学会東京部会秋季学術大会：1 題
    - ・日本体育測定評価学会：1 題
    - ・日本運動生理学会：1 題
    - ・日本人間工学会：1 題
    - ・日本人間工学会関東支部大会：1 題

- ・日本発育発達学会：1 題
- (2) 国際学会（合計 2 題）
  - ・16th Annual Congress of the European College of Sport Science：1 題（England）
  - ・World Sleep 2011：1 題（Japan）

イ. 論文・報告書などの出版

- ・コアスタディ：5 題
- ・研究室別研究：5 題

5. その他の活動

- ア. 体力研究 109 号を発行
- イ. 東日本大震災の被災地におけるメンタルヘルスケア支援活動を実施
- ウ. 体力医学研究所ホームページによる情報提供
- エ. メディアへの情報提供

## 2. 健 診 事 業

### 1. 男女別・年齢階級別受診者数

	男 性		女 性		計	
	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)
60歳以上	1,840	23.4	1,571	20.9	3,411	22.2
50～59歳	1,804	22.9	1,885	25.0	3,689	24.0
40～49歳	2,363	30.0	2,358	31.3	4,721	30.7
35～39歳	974	12.4	844	11.2	1,818	11.8
30～34歳	543	6.9	523	6.9	1,066	6.9
29歳以下	348	4.4	345	4.6	693	4.5
合 計	7,872	100.0	7,526	100.0	15,398	100.0

- (1) 総受診者数 15,398 人で前年度より 243 人減少
- (2) 男女別では男性が 54 人増加、女性は 297 人減少
- (3) 男女別の占率は男性 51.1%、女性 48.9%で、前年度までは女性の占率が漸増傾向にあったが、今年度はやや減少

### 2. その他受診者に関する事項

- (1) 一般と団体との占率  
一般が 909 人 (5.9%)、団体が 14,489 人 (94.1 %) で、従来同様団体中心の受診者構成
- (2) 継続受診者率  
継続受診者率は 79.5 % で、前年度より 1.1 % 増加。新規受診者は 3,158 人と前年度より 51 人減少
- (3) 二次検査受診者数  
二次検査は、胃部内視鏡検査 39 人、胸部 X 線検査 21 人等で、合計 167 人
- (4) 婦人科検査受診率  
婦人科検査受診者数は 5,299 人で受診率は 70.4%と、前年度より 0.8%減少
- (5) 乳房検査受診率  
乳房専門医による視触診と画像診断（エコー、マンモグラフィ）により実施。受診者数は 5,862 人で受診率は 77.9%と、前年度より 0.6%増加

### 3. 検査結果状況

健診結果の検査対象疾患別判定の占率状況は、次の表に示したとおりである。

なお、「精密検査が必要」と判定された占率が最も高率に認められた疾患は男性では眼科 (7.3%)、女性では食道・胃疾患 (4.8%) であった。

また、生活習慣病といわれる肥満、脂質異常症（高コレステロール血症、高中性脂肪血症）、肝機能障害、耐糖能障害は、男女差があるものの「C」判定が多く、食事、運動を中心とした生活習慣の影響が示唆された。

検査対象疾患別判定占率一覧表

疾患名	検査方法	性別	判定区分 %				癌の発見数 (例)
			C	D1	D2	E	
肥満 (過体重)	身体測定	男女	63.8	0.0	0.0	0.0	
		男女	53.7	0.0	0.0	0.0	
呼吸器疾患	胸部 X 線	男女	27.3	0.0	1.6	0.6	肺癌 3
		男女	13.9	0.0	2.1	0.3	
高血圧	血圧測定	男女	10.1	0.4	0.0	15.6	
		男女	5.1	0.1	0.0	7.8	
高コレステロール	血液生化学	男女	12.8	1.2	0.0	0.8	
		男女	15.6	1.5	0.0	1.3	
高中性脂肪	血液生化学	男女	17.7	1.7	0.0	6.5	
		男女	4.0	0.6	0.0	5.1	
高尿酸	血液生化学	男女	19.1	3.3	0.0	2.0	
		男女	1.0	0.2	0.0	0.0	
心電図異常	心電図	男女	19.4	0.2	2.2	0.6	
		男女	10.4	0.0	1.2	0.2	
腎・尿路疾患	腹部超音波 尿検査	男女	23.9	0.0	4.2	0.3	腎臓癌 4
		男女	21.8	0.0	3.8	0.1	
食道・胃疾患	胃部 X 線 胃部内視鏡	男女	10.4	0.2	6.2	0.1	胃癌 12 食道癌 2
		男女	15.2	0.1	4.8	0.0	
十二指腸疾患	胃部 X 線	男女	2.7	0.1	0.3	0.0	十二指腸癌 1
		男女	1.1	0.0	0.1	0.0	
胆石・胆のうポリープ	腹部超音波	男女	21.1	0.0	0.7	0.0	胆のう癌 1
		男女	13.9	0.0	0.5	0.0	
肝機能障害 (脂肪肝含)	血液生化学	男女	52.0	0.0	1.1	0.6	肝臓癌 1
		男女	20.3	0.0	0.4	0.3	
糖尿病 (耐糖能障害)	血液生化学	男女	11.4	3.1	0.8	5.0	
		男女	7.1	0.9	0.6	1.6	
眼科	眼底・眼圧	男女	21.2	0.1	7.3	3.2	
		男女	15.1	0.1	4.7	2.5	
肛門・大腸疾患	便潜血反応	男女	0.0	0.0	6.1	0.0	大腸癌 6
		男女	0.5	0.0	4.3	0.0	
前立腺疾患	P S A 検査	男女	0.0	0.0	1.8	0.1	前立腺癌 5
		男女	-	-	-	-	
婦人科	婦人科	男女	-	-	-	-	子宮頸癌 3 子宮体癌 1
		男女	11.0	1.2	3.8	1.1	
乳房疾患	触診・超音波 マンモグラフィ	男女	-	-	-	-	乳癌 13
		男女	1.5	0.0	0.4	0.0	
その他の疾患		男女	10.3	0.0	1.2	0.2	その他の癌 2
		男女	11.2	0.0	2.4	0.6	

(注) 1. 疾患別判定占率 (%) は、総受診者数に対する割合。ただし、腹部エコー検査 (受診率 83.4 %)、P S A 検査 (受診率 34.2%)、婦人科検査 (受診率 70.4 %)、および乳房検査 (受診率 77.9 %) はそれぞれの受診者に対する割合

2. 判定区分 (平成 16 年度より日本人間ドック学会に準拠)

C : 生活習慣の改善ならびに経過観察が必要

D1 : 治療が必要 D2 : 精密検査が必要

E : 継続治療

3. その他の癌は甲状腺癌、膵臓癌

### 3. ウェルネス事業

<b>1. 健康・体力づくり実践指導活動</b>	<b>合計活動数</b>	<b>711回</b>
	<b>合計参加人数</b>	<b>2,743人</b>
ア. 健康度測定・相談		
・「運動健診」	開催数	49回：参加人数 70人
・「生活改善健診」	開催数	63回：参加人数 91人
イ. 健康づくり支援		
・「健康支援室」	開催数	236回：参加人数 1134人
・「生活チェック」	開催数	135回：参加人数 374人
・「生活改善サポート」	開催数	60回：参加人数 321人
・「個別相談」	開催数	12回：参加人数 12人
ウ. 特定保健指導	開催数	36回：参加人数 39人
エ. 運動実践プログラム		
・「MYヘルスプログラム」	開催数	83回：参加人数 633人
・「ヘルスアップMYレージ」		登録者数 25人
・被災者支援「リラックス&リフレッシュ」	開催数	31回：参加人数 52人
オ. その他	開催数	6回：参加人数 17人
<b>2. 健康づくりコンサルタント活動</b>	<b>合計活動数</b>	<b>19回</b>
	<b>合計参加人数</b>	<b>712人</b>
ア. 行政への保健事業の支援	開催数	5回：参加人数 197人
イ. 企業、団体、機関などへの健康づくりに関する支援	開催数	14回：参加人数 515人
<b>3. 総計</b>	<b>総活動数</b>	<b>730回</b>
	<b>総参加人数</b>	<b>3,455人</b>

## 4. 研究助成事業

### 1. 第28回健康医科学研究助成

- ア. 従来の一般公募研究に加え、指定課題研究「運動とメンタルヘルス」を新設
- イ. 応募総数 145 件（指定課題研究：33 件、一般公募研究：112 件）
- ウ. 次表の 15 件（指定課題研究：5 件、一般公募研究：10 件）を選出
- エ. 研究助成贈呈式を実施し、一律 100 万円（総額 1,500 万円）を助成
- オ. これまでの事業の累計（助成対象研究：497 件、助成金額：4 億 9,650 万円）

### 2. 論文集

- ア. 第 27 回健康医科学研究助成論文集「健康医科学」を発行
- イ. 15 件の報告内容を吟味して優秀賞 1 件を選定

## 第28回（平成23年度）健康医科学研究助成受贈者一覧

a. 指定課題研究（5件）

（五十音順・敬称略）

氏名 (共同研究者数)	所属	研究テーマ
石井 香織 (3人)	早稲田大学 スポーツ科学学術院	子どもの身体活動および座位活動がメンタルヘルスに及ぼす影響を解明するための縦断的研究
小野 玲 (3人)	神戸大学大学院 保健学研究科	妊娠安定期以降の身体活動および運動習慣が産後うつに与える影響
野内 類	東北大学 加齢医学研究所	短時間かつ短期間のサーキット運動プログラムが中高齢女性の認知機能とメンタルヘルスの改善に及ぼす効果の検証 －無作為化比較対照試験を用いた検討－
山田 陽介 (2人)	京都府立医科大学 医学部看護学科	高齢者の身体活動量向上による骨格筋細胞量向上とうつ傾向改善との関連
山本 亮	金沢医科大学 医学部生理学 I	習慣的運動による「うつ症状」治療効果の検討

b. 一般公募研究（10件）

（五十音順・敬称略）

氏名 (共同研究者数)	所属	研究テーマ
上田 (石原) 奈津実	名古屋大学 理学部	運動による脳の活性化のしくみ
尼崎 光洋 (2人)	愛知大学 地域政策学部	環境要因が身体活動に与える影響 －地理情報システムによる環境要因の測定及び Health Action Process Approach を用いた行動モデルの検討－
小笠原 理紀 (2人)	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	レジスタンストレーニングが細胞外マトリックスに及ぼす影響
金 美芝 (1人)	東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム	虚弱高齢者における身体活動および座位行動のパターンからみた新たなサルコペニアの病因学的探索
笹井 浩行 (2人)	National Institutes of Health/National Institute of Diabetes and Digestive and Kidney Diseases Diabetes, Endocrinology and Obesity Branch	高強度インターバル運動が境界型糖尿病肥満者の糖・エネルギー代謝に及ぼす影響 －持続血糖測定システムおよびメタボリックチャンバーを用いた検討－
清水 宣明 (1人)	東京大学医科学研究所 免疫病態分野	加齢に伴う骨格筋量・筋力低下におけるグルココルチコイドシグナルの意義の究明
須永 美歌子 (2人)	日本体育大学女子短期大学部 体育科	レジスタンストレーニングによる筋肥大効果は卵胞期と黄体期で違うのか
難波 秀行	福岡大学 スポーツ科学部	I T 端末を用いた身体活動量測定システムによる交通行動と身体活動分析
宮木 亜沙子	筑波大学 人間総合科学研究科	中高齢肥満男性における生活習慣の改善が血中 P T X 3 濃度に与える影響
渡邊 航平 (2人)	京都大学大学院 人間・環境学研究科	加齢にともなう筋力低下の神経的要因を評価する新たな試み

（以上 15 件、一律 100 万円を助成。なお、所属は応募時のものを記載）

### Ⅲ-1 貸借対照表総括表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	211,881,670	148,457,494	63,424,176
前払金	14,053,761	4,092,327	9,961,434
未収金	40,279,145	0	40,279,145
貯蔵品	2,049,347	0	2,049,347
流動資産合計	268,263,923	152,549,821	115,714,102
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	0	0	0
定期預金基本	250,000,000	250,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	74,985,245	51,985,245	23,000,000
機器購入積立預金	68,267,817	23,792,229	44,475,588
50周年記念積立預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	147,253,062	79,777,474	67,475,588
その他の固定資産			
建物附属設備	29,822,998	6,726,189	23,096,809
器具備品	96,821,217	27,334,930	69,486,287
電話加入権	863,700	863,700	0
リサイクル預託金	15,510	15,510	0
元入金	0	112,002,775	△ 112,002,775
その他の資産合計	127,523,425	146,943,104	△ 19,419,679
無形固定資産			
ソフトウェア	21,107,619	14,043,015	7,064,604
無形固定資産合計	21,107,619	14,043,015	7,064,604
固定資産合計	545,884,106	490,763,593	55,120,513
<b>資産合計</b>	<b>814,148,029</b>	<b>643,313,414</b>	<b>170,834,615</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	5,460,458	5,460,458	0
未払金	68,630,950	25,327,224	43,303,726
未払法人税等	120,000	50,000	70,000
流動負債合計	74,211,408	30,837,682	43,373,726
2. 固定負債			
退職給付引当金	67,125,841	36,228,213	30,897,628
固定負債合計	67,125,841	36,228,213	30,897,628
<b>負債合計</b>	<b>141,337,249</b>	<b>67,065,895</b>	<b>74,271,354</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	672,810,780	576,247,519	96,563,261
(うち基本財産への充当額)	(250,000,000)	(250,000,000)	( 0)
<b>正味財産合計</b>	<b>672,810,780</b>	<b>576,247,519</b>	<b>96,563,261</b>
<b>負債・正味財産</b>	<b>814,148,029</b>	<b>643,313,414</b>	<b>170,834,615</b>

## Ⅲ-2 貸借対照表（一般事業）

平成24年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	148,457,494	116,859,065	31,598,429
前払金	4,092,327	4,026,327	66,000
未収金	0	0	0
流動資産合計	152,549,821	120,885,392	31,664,429
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	0	0	0
定期預金基本	250,000,000	250,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	51,985,245	51,985,245	0
機器購入積立預金	23,792,229	23,792,229	0
50周年記念積立預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	79,777,474	79,777,474	0
その他の固定資産			
建物附属設備	6,726,189	7,661,383	△ 935,194
器具備品	27,334,930	38,642,633	△ 11,307,703
電話加入権	863,700	863,700	0
リサイクル預託金	15,510	15,510	0
元入金	112,002,775	137,515,855	△ 25,513,080
その他の資産合計	146,943,104	184,699,081	△ 37,755,977
無形固定資産			
ソフトウェア	14,043,015	17,246,229	△ 3,203,214
無形固定資産合計	14,043,015	17,246,229	△ 3,203,214
固定資産合計	490,763,593	531,722,784	△ 40,959,191
資産合計	643,313,414	652,608,176	△ 9,294,762
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	5,460,458	5,633,064	△ 172,606
未払金	25,327,224	29,754,523	△ 4,427,299
未払法人税等	50,000	50,000	0
流動負債合計	30,837,682	35,437,587	△ 4,599,905
2. 固定負債			
退職給付引当金	36,228,213	34,311,765	1,916,448
固定負債合計	36,228,213	34,311,765	1,916,448
負債合計	67,065,895	69,749,352	△ 2,683,457
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	576,247,519	582,858,824	△ 6,611,305
（うち基本財産への充当額）	(250,000,000)	(250,000,000)	( 0)
正味財産合計	576,247,519	582,858,824	△ 6,611,305
負債・正味財産	643,313,414	652,608,176	△ 9,294,762

### Ⅲ-3 貸借対照表（特別事業）

平成24年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	63,424,176	56,456,379	6,967,797
前払金	9,961,434	8,095,934	1,865,500
未収金	40,279,145	41,130,249	△ 851,104
貯蔵品	2,049,347	2,982,065	△ 932,718
流動資産合計	115,714,102	108,664,627	7,049,475
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	23,000,000	23,000,000	0
機器購入積立預金	44,475,588	44,475,588	0
特定資産合計	67,475,588	67,475,588	0
その他の固定資産			
建物附属設備	23,096,809	24,519,365	△ 1,422,556
器具備品	69,486,287	105,590,769	△ 36,104,482
元入金	△ 112,002,775	△ 137,515,855	25,513,080
その他の資産合計	△ 19,419,679	△ 7,405,721	△ 12,013,958
無形固定資産			
ソフトウェア	7,064,604	9,236,522	△ 2,171,918
無形固定資産合計	7,064,604	9,236,522	△ 2,171,918
固定資産合計	55,120,513	69,306,389	△ 14,185,876
資産合計	170,834,615	177,971,016	△ 7,136,401
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	0	0	0
未払金	43,303,726	48,682,209	△ 5,378,483
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	43,373,726	48,752,209	△ 5,378,483
2. 固定負債			
退職給付引当金	30,897,628	29,453,420	1,444,208
固定負債合計	30,897,628	29,453,420	1,444,208
負債合計	74,271,354	78,205,629	△ 3,934,275
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	96,563,261	99,765,387	△ 3,202,126
（うち基本財産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	96,563,261	99,765,387	△ 3,202,126
負債・正味財産	170,834,615	177,971,016	△ 7,136,401

## IV-1 正味財産増減計算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	136,823	136,823	0
運用財産運用収入	65,437	35,617	29,820
寄附金収入	276,000,000	276,000,000	0
ウェルネス事業収入	715,663	715,663	0
健診事業収入	595,426,471	0	595,426,471
雑収入	375,290	375,290	0
経常収益計	872,719,684	277,263,393	595,456,291
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	108,734,177	108,734,177	0
研究助成事業費	32,151,895	32,151,895	0
ウェルネス事業費	48,431,738	48,431,738	0
管理費	94,506,888	94,506,888	0
健診事業費	598,523,212	0	598,523,212
経常費用計	882,347,910	283,824,698	598,523,212
当期経常増減額	△ 9,628,226	△ 6,561,305	△ 3,066,921
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却額	0	0	0
固定資産除却損	65,205	0	65,205
経常外費用計	65,205	0	65,205
当期経常外増減額	△ 65,205	0	△ 65,205
税引前当期一般正味財産増減額	△ 9,693,431	△ 6,561,305	△ 3,132,126
法人税、住民税及び事業税	120,000	50,000	70,000
当期一般正味財産増減	△ 9,813,431	△ 6,611,305	△ 3,202,126
一般正味財産期首残高	682,624,211	582,858,824	99,765,387
一般正味財産期末残高	672,810,780	576,247,519	96,563,261
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>672,810,780</b>	<b>576,247,519</b>	<b>96,563,261</b>

## IV-2 正味財産増減計算書（一般事業）

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	136,823	225,096	△ 88,273
運用財産運用収入	35,617	74,357	△ 38,740
寄附金収入	276,000,000	276,000,000	0
ウェルネス事業収入	715,663	709,971	5,692
雑収入	375,290	347,030	28,260
経常収益計	277,263,393	277,356,454	△ 93,061
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	108,734,177	106,077,293	2,656,884
研究助成事業費	32,151,895	18,550,874	13,601,021
ウェルネス事業費	48,431,738	48,667,624	△ 235,886
事業費計	189,317,810	173,295,791	16,022,019
管理費			
管理費	94,506,888	100,343,107	△ 5,836,219
管理費計	94,506,888	100,343,107	△ 5,836,219
経常費用計	283,824,698	273,638,898	10,185,800
当期経常増減額	△ 6,561,305	3,717,556	△ 10,278,861
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却額	0	16,287	△ 16,287
固定資産除却損	0	427,631	△ 427,631
経常外費用計	0	443,918	△ 443,918
当期経常外増減額	0	△ 443,918	443,918
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,561,305	3,273,638	△ 9,834,943
法人税、住民税及び事業税	50,000	50,000	0
当期一般正味財産増減	△ 6,611,305	3,223,638	△ 9,834,943
一般正味財産期首残高	582,858,824	579,635,186	3,223,638
一般正味財産期末残高	576,247,519	582,858,824	△ 6,611,305
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	576,247,519	582,858,824	△ 6,611,305

### IV-3 事業費及び管理費明細書（一般事業）

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I 体力研究事業費</b>	<b>108,734,177</b>	<b>Ⅲ ウェルネス事業費</b>	<b>48,431,738</b>
1. 人件費	71,364,651	1. 人件費	28,957,091
役員給料	60,068,326	役員給料	24,873,428
法定福利費	8,693,025	法定福利費	3,379,717
福利厚生費	2,603,300	福利厚生費	703,946
2. 研究費	37,369,526	2. 事業費	19,474,647
旅費交通費	1,727,235	光熱水費	563,427
通信費	1,396,342	賃借料	8,478,048
印刷費	266,930	不動産管理費	5,015,760
印刷費	1,078,472	通信印刷費	371,145
備品消耗品費	1,364,984	備品消耗品費	547,287
図書購入費	793,785	フィットネス費	927,772
材料費	192,691	減価償却費	2,427,865
研究調査費	679,624	その他費用	1,143,343
研究諸費	2,322,636	<b>事業費合計</b>	<b>189,317,810</b>
光熱水費	1,427,536	<b>Ⅳ 管理費</b>	<b>94,506,888</b>
賃借料	17,135,640	1. 人件費	40,048,208
不動産管理費	5,043,264	役員給料	27,790,511
機器保守管理費	1,101,868	法定福利費	4,192,397
リース料	501,870	福利厚生費	1,217,888
減価償却費	1,394,759	派遣経費	2,515,247
その他費用	941,890	退職給付引当金繰入額	4,332,165
<b>Ⅱ 研究助成事業費</b>	<b>32,151,895</b>	2. 事務費	54,458,680
1. 助成金	27,500,000	会議費	1,736,640
研究助成金	27,500,000	賃借料	9,624,424
2. 事務費	4,651,895	不動産管理費	5,851,716
論文集刊行費	2,125,600	リース料	1,205,540
事務費	2,526,295	光熱水費	320,130
		通信印刷費	1,920,416
		調査・諸謝金	2,046,690
		備品消耗品費	390,814
		システム関係費	7,589,135
		減価償却費	14,468,769
		租税公課	4,911,727
		その他費用	4,392,679
		<b>事業費及び管理費合計</b>	<b>283,824,698</b>

#### IV-4 正味財産増減計算書（特別事業）

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
運用財産運用収入	29,820	35,403	△ 5,583
健診事業収入	595,426,471	601,422,721	△ 5,996,250
雑収入	0	0	0
経常収益計	595,456,291	601,458,124	△ 6,001,833
(2) 経常費用			
事業費			
健診事業費	598,523,212	659,260,084	△ 60,736,872
事業費計	598,523,212	659,260,084	△ 60,736,872
経常費用計	598,523,212	659,260,084	△ 60,736,872
当期経常増減額	△ 3,066,921	△ 57,801,960	54,735,039
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却額	0	10,635	△ 10,635
固定資産除却損	65,205	177,872	△ 112,667
経常外費用計	65,205	188,507	△ 123,302
当期経常外増減額	△ 65,205	△ 188,507	123,302
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,132,126	△ 57,990,467	54,858,341
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減	△ 3,202,126	△ 58,060,467	54,858,341
一般正味財産期首残高	99,765,387	157,825,854	△ 58,060,467
一般正味財産期末残高	96,563,261	99,765,387	△ 3,202,126
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	96,563,261	99,765,387	△ 3,202,126

## IV-5 事業費明細書（特別事業）

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

（単位：円）

科 目	金 額
健 診 事 業 費	598,523,212
1. 人 件 費	336,476,983
役 職 員 給 料	285,910,506
法 定 福 利 費	24,539,161
福 利 厚 生 費	9,394,816
派 遣 経 費	12,837,601
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,794,899
2. 健 診 費	262,046,229
医 薬 品 費	15,396,344
材 料 費	7,967,490
備 品 消 耗 品 費	7,226,704
修 繕 費	5,067,857
機 器 保 守 契 約 費	10,307,752
通 信 費	12,581,899
印 刷 費	3,725,600
業 務 開 拓 費	10,731,769
研 究 助 成 費	1,271,208
リ ー ス 料	11,900,924
賃 借 料	52,314,504
不 動 産 管 理 費	30,930,457
光 熱 水 費	5,518,996
嘱 託 医 関 係 費	651,320
シ ス テ ム 関 係 費	9,971,711
減 価 償 却 費	41,023,751
租 税 公 課	2,415,393
外 注 費	26,633,944
そ の 他 費 用	6,408,606
<b>特 別 事 業 費 合 計</b>	<b>598,523,212</b>

## IV-6 計算書類に関する注記

1. この計算書類は「新公益法人会計基準」によって作成されています。

### 2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定額法によります。

(2) 退職給付引当金の計上基準

自己都合による期末要支給額に基づいて計上しています。

(3) 消費税等会計処理について

税抜き処理によります。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によります。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
定期預金	250,000,000	0	0	250,000,000
小 計	250,000,000	0	0	250,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	74,985,245	0	0	74,985,245
機器購入積立預金	68,267,817	0	0	68,267,817
50周年記念積立預金	4,000,000	0	0	4,000,000
小 計	147,253,062	0	0	147,253,062
合 計	397,253,062	0	0	397,253,062

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建物附属設備	46,804,817	16,981,819	29,822,998
器具備品	372,858,627	276,037,410	96,821,217
小 計	419,663,444	293,019,229	126,644,215
ソフトウェア	34,164,130	-	21,107,619
合 計	453,827,574	293,019,229	147,751,834

### 5. リース料

	1年以内	1年超	合 計
	円	円	円
未経過リース料期末残高相当額	13,303,218	20,340,346	33,643,564

# V. 財 産 目 録

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	848,855		
普通預金	211,032,815		
未収料金	40,279,145		
前払金	14,053,761		
貯蔵品			
材料	833,636		
医薬品	503,711		
その他	712,000		
流動資産合計		268,263,923	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	250,000,000		
基本財産合計	250,000,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	74,985,245		
機器購入積立預金	68,267,817		
50周年記念積立預金	4,000,000		
特定資産合計	147,253,062		
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	29,822,998		
器具備品	96,821,217		
電話加入権	863,700		
リサイクル預託金	15,510		
その他の固定資産合計	127,523,425		
(4) 無形固定資産			
ソフトウェア	21,107,619		
無形固定資産合計	21,107,619		
固定資産合計		545,884,106	
<b>資産合計</b>			814,148,029
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金(健診事業費等)	68,630,950		
未払法人税等	120,000		
預り金(所得税住民税等)	5,460,458		
流動負債合計		74,211,408	
2. 固定負債			
退職給付引当金	67,125,841		
固定負債合計		67,125,841	
<b>負債合計</b>			141,337,249
<b>正味財産</b>			672,810,780

以上のとおり相違ありません。

平成 24 年 6 月 11 日

財団法人 明治安田厚生事業団

理 事 長 米 田 克 巳

理 事 馬 詰 良 樹

香 川 芳 子

蔵 本 博 行

栗 原 敏

佐 藤 安 弘

芝 山 秀 太 郎

宮 坂 信 之

貴 島 政 邑

須 山 靖 男

福 島 幸 彦

以上調査の結果、法令および寄付行為にもとづき正確であることを認めます。

平成 24 年 6 月 11 日

監 事 富 林 和 雄

# 独立監査人の監査報告書

平成 24 年 4 月 20 日

財団法人 明治安田厚生事業団

理事長 米 田 克 巳 殿

川上公認会計士事務所

公認会計士

川上 泰江 

白子公認会計士事務所

公認会計士

白子 和幸 

私たちは、財団法人明治安田厚生事業団の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第50期事業年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

## 記

### I 財務諸表

1. 一般事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 特別事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. 貸借対照表総括表
4. 正味財産増減計算書総括表
5. 財産目録

### II 収支計算書

1. 一般事業会計の収支計算書
2. 特別事業会計の収支計算書
3. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私たちの責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私たちは、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私たちの意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人明治安田厚生事業団の第50期事業年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人明治安田厚生事業団の第50期事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人明治安田厚生事業団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## Ⅵ. 評議員会に関する事項

平成 23 年 6 月 10 日（金曜日）午後 5 時 00 分、東京都港区北青山 3 - 6 - 8  
青山ダイヤモンドホールにおいて、平成 23 年度評議員会を開催

### 会 議 の 目 的 事 項

- 第 1 号議案 理事選任の件
- 第 2 号議案 新公益財団法人の理事、監事の選任の件
- 第 3 号報告 平成 22 年度事業報告および決算の件
- 第 4 号報告 平成 23 年度経営計画および予算の件
- 第 5 号報告 評議員の委嘱の件
- 第 6 号議案及び報告 公益認定申請の件
- 第 7 号議案及び報告 新公益財団法人の定款、諸規程の件
  - ア. 定款
  - イ. 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
  - ウ. 寄附金取扱規程
  - エ. 定款等の軽微な変更について
- 第 8 号議案及び報告 新公益財団法人の評議員の選任の件
  - ア. 最初の評議員の選任方法
  - イ. 最初の評議員選定委員会の委員の選任
  - ウ. 最初の評議員候補者の承認
- 第 9 号議案及び報告 新公益財団法人の代表理事、業務執行理事の選定の件

### 総評議員数および出席議員数

- (1) 総評議員数 11 人
- (2) 出席評議員数 11 人（うち委任状によるもの 2 人）

### 議 事

1. 寄付行為第 31 条の規定に従って、評議員互選により評議員江橋 博氏を議長に選任し、議長は寄付行為第 32 条の規定に従い、評議員内田 賢氏および評議員三好裕司氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
2. 議長は、第 1 号議案「理事選任の件」を上議し、以下の審議をもとめたところ全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決した。
  - ・再任者  
香川芳子氏、芝山秀太郎氏、福島幸彦氏
  - ・新任者  
須山靖男氏

3. 第2号議案「新公益財団法人の理事、監事の選任の件」を上議し、以下の審議を求めたところ全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決した。

・理事

内田 賢氏、加藤壹康氏、蔵本博行氏、栗原 敏氏、須山靖男氏、福島幸彦氏、  
湊久美子氏、宮坂信之氏、米田克巳氏

・監事

鈴木竹夫氏、富林和雄氏

4. 議長は、第3号報告「平成22年度事業報告および決算承認の件」を上議し、当事業団の業績は、健診事業を取巻く環境の悪化もあり厳しい決算となった旨報告し、併せて主要業績を列挙して報告した。

5. 議長は、第4号報告「平成23年度経営計画および予算の件」を上議し、平成23年度の経営計画および予算の概要について報告した。

6. 議長は、第5号報告「評議員委嘱の件」を上議し、平成23年度の評議員の名簿を配付して理事会に上議されることを報告した。

7. 議長は、第6号議案及び報告「公益認定申請の件」につき、審議し、全員異議なく承認可決し理事会に上議される「公益認定申請の件」の報告をした。

8. 議長は、第7号議案及び報告「新公益財団法人の定款、諸規程の件」ア.定款、イ.役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程、ウ.寄附金取扱規程、エ.定款等の軽微な変更については理事長一任とする旨審議し、別紙定款案のとおり、全員異議なく承認可決し、別紙定款案のとおり全員異議なく承認可決した旨を併せて理事会に上議される内容を報告した。

9. 議長は、第8号議案及び報告「新公益財団法人の評議員の選定の件」ア.最初の評議員の選任方法、イ.最初の評議員選定委員会の委員の選任、ウ.最初の評議員候補者の承認を審議し、全員異議なく承認可決し、理事会に上議される内容を報告した。

10. 最後に議長は、第9号議案及び報告「新公益財団法人の代表理事、業務執行理事の選任の件」について審議し全員異議なく承認可決し、最初の代表理事は定款の附則によるもとする旨を確認し、理事会に上議される内容を報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後5時30分、議長は閉会を宣した。

## Ⅶ. 理事会に関する事項

1. 平成 23 年 6 月 10 日（金曜日）午後 5 時 30 分、東京都港区北青山 3 - 6 - 8 青山ダイヤモンドホールにおいて、平成 23 年度理事会を開催

### 会議の目的事項

- 第 1 号議案 平成 22 年度事業報告および決算の件
- 第 2 号議案 平成 23 年度経営計画および予算の件
- 第 3 号議案 評議員の委嘱の件
- 第 4 号議案 公益認定申請の件
- 第 5 号議案 新公益財団法人の定款、諸規程の件
  - ア. 定款
  - イ. 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
  - ウ. 寄附金取扱規程
  - エ. 定款等の軽微な変更について
- 第 6 号議案 新公益財団法人の評議員の選任の件
  - ア. 最初の評議員の選任方法
  - イ. 最初の評議員選定委員会の委員の選任
  - ウ. 最初の評議員候補者の承認
- 第 7 号議案 新公益財団法人の代表理事、業務執行理事の選定の件
- 第 8 号報告 新公益財団法人の理事、監事の選任の件
- 第 9 号報告 理事選任の件

### 総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 12 人
- (2) 出席理事数 12 人（うち委任状によるもの 2 人）

### 議 事

1. 開会に先立ち、福島事務局長より、現在の総理事数 12 人のうち、本日の出席理事数は 12 人であり、寄付行為第 22 条並びに第 24 条の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 理事長米田克巳氏は、寄付行為第 21 条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣した後、寄付行為第 26 条の規定に従って、理事高井邦美氏および理事福島幸彦氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを受諾した。
3. 議長は、第 1 号議案「平成 22 年度事業報告および決算の件」を上議し、まず平成 22 年度事業報告につき、各事業別に主要業績を列挙して報告するとともに、当事業団の業績は、健診事業を取巻く環境の悪化もあり厳しい決算となった旨を説明した。  
次に、平成 22 年度決算に関し、議長は、貸借対照表、正味財産増減計算書、事業費明細書、および財産目録等の各案を各理事に配付し、主要事項について説明した。

引きつづき監事富林和雄氏は、これらの諸表を厳正に監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めた旨を報告した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

4. 議長は、第2号議案「平成23年度経営計画および予算の件」を上議し、まず平成23年度の経営計画の概要について説明した。

次に、平成23年度予算に関し、議長は、新年度開始以前に理事会を開催することができなかつたため、本年度4月以降経常収支のみの暫定予算を実施し、前年度予算に準じて収入・支出した旨を述べて了承を求め、次いで予算案を配付して、収入、支出の部および収支差額等主要事項を中心に説明した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

5. 議長は、第3号議案「評議員の委嘱の件」を上議し、以下のとおり審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決した。

・再任者

大島雄次氏、波多健治郎氏

6. 議長は、第4号議案「公益認定申請の件」を上議し、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

7. 議長は、第5号議案「新公益財団法人の定款、諸規程の件」を上議し、新公益財団法人としての定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、寄附金取扱規程、定款等の軽微な変更についての議案を説明した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙定款（案）を含む第5号議案の原案どおり承認可決された。

8. 議長は、第6号議案「新公益財団法人の評議員の選任の件」を上議し、最初の評議員の選任方法、最初の評議員選定委員会の委員の選任、最初の評議員候補者の承認についての議案を説明した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙第6号議案の原案どおり承認可決された。

9. 議長は、第7号議案を「新公益財団法人の代表理事、業務執行理事の選定の件」を上議するにあたり、まず第8号報告である「新公益法人の理事、監事の選任の件」を上議し、以下のとおり評議員会で別紙定款（案）を含む第5号及び第7号議案の原案どおり承認可決されたことを報告した。

・理事

内田 賢氏、加藤壹康氏、蔵本博行氏、栗原 敏氏、須山靖男氏、福島幸彦氏、  
湊久美子氏、宮坂信之氏、米田克巳氏

・監事

鈴木竹夫氏、富林和雄氏

その上で議長は、あらためて第7号議案「新公益財団法人の代表理事、業務執行理事の選定の件」を上議し、以下のとおり説明した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙定款（案）を含む第5号議案及び別紙第7号議案の原案どおり承認可決された。

・代表理事 米田克巳氏

・業務執行理事 内田 賢氏、須山靖男氏、福島幸彦氏

10. 最後に議長は、第9号報告「理事選任の件」を上議し、以下のとおり評議員会で原案どおり承認可決されたことを報告した。

- ・再任者 香川芳子氏、芝山秀太郎氏、福島幸彦氏
- ・新任者 須山靖男氏

以上をもって議事を終了したので、午後6時、議長は閉会を宣した。

2. 平成 24 年 3 月 12 日（金曜日）午後 5 時 00 分、東京都港区北青山 3 - 6 - 8  
青山ダイヤモンドホールにおいて、理事会を開催

### 会 議 の 目 的 事 項

#### 審議事項

- 第 1 号議案 平成 24 年度事業計画および収支予算の件  
第 2 号議案 新公益財団法人の定款及び諸規程の件  
ア. 変更  
1. 定款 第 5 条第 1 項  
2. 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程 第 5 条第 2 項  
イ. 制定  
1. 評議員会運営規程  
2. 理事会運営規程  
3. 常任理事会運営規程  
4. 研究助成運営規程

#### 報告事項

- 第 1 号報告 監事監査規程の件  
第 2 号報告 役員責任限定契約の件

#### 総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 11 人  
(2) 出席理事数 11 人（うち委任状によるもの 3 人）

#### 議 事

1. 開会に先立ち、須山理事より、現在の総理事数 11 人のうち、本日の出席理事数は 8 人、欠席の 3 人の理事から委任状をいただいております、寄付行為第 22 条並びに第 24 条の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 理事長米田克巳氏は、寄付行為第 21 条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣した後、寄付行為第 26 条の規定に従って、理事貴島政邑氏および理事須山靖男氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを受諾した。
3. 議長は、第 1 号議案「平成 24 年度事業計画および収支予算の件」を上議し、まず平成 24 年度の事業計画の概要について説明した。  
次に、予算案を配付して、収入、支出の部および収支差額等主要事項を中心に説明した。  
議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙原案どおり承認可決された。
4. 議長は、第 2 号議案「新公益財団法人の定款、諸規程の件」ア. 変更を上議し、新公益財団法人としての定款 第 5 条第 1 項の変更、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程 第 5 条第 2 項の但し書きの追加につき、すべて内閣府の指示に基づき変更したい旨説明した。

次に議長は第2号議案「新公益財団法人の定款、諸規程の件」イ.制定を上議し、評議員会運営規程、理事会運営規程、常任理事会運営規程、研究助成運営規程のそれぞれの規程を制定したい旨説明した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙原案どおり承認可決された。

9. 議長は、第1号報告「監事監査規程の件」を上議し、監事の監査に関する手続きを定める規程について報告した。

次に議長は第2号報告「役員の実任契約の件」を上議し、責任限定契約について報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後6時、議長は閉会を宣した。

## Ⅷ. 出版に関する事項

### 平成23年度刊行物一覧

刊行物名	号数 (タイトル)	刊行月	部数
体 力 研 究	No.109	平成 23 年 4 月	1,000 部
健 康 医 科 学	第 27 回健康医科学 研究助成論文集	平成 24 年 3 月	1,300 部

## Ⅸ. 寄附に関する事項

平成 2 3 年度は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり寄附を受けた。

受領年月日	金額 (円)
平成 23 年 5 月 17 日	100,000,000
平成 23 年 9 月 29 日	100,000,000
平成 24 年 1 月 11 日	76,000,000

# X. 平成24年度事業計画

## I. 基本方針

広く一般の健康増進に寄与するため、体力医学研究事業、ウェルネス事業、健康調査事業を三位一体で推進する態勢を強化するとともに、公益活動の一環として東日本大震災の被災者支援を行う。

なお、平成24年度より、公益法人への移行を控え事業を再編し、研究助成事業を体力医学研究事業に編入するとともに、健診事業を健康調査事業にあらためた。

### 1. 体力医学研究事業

運動がメンタルヘルスに及ぼす影響について、基礎実験研究と応用実践研究を推進し、学術書「運動とメンタルヘルス」発刊ならびに論文作成を目指す。さらに、健康調査事業の研究資源を活用した研究推進体制の確立を図る。

健康医科学研究助成を継続実施し、健康科学分野に関わる若手の研究者を支援する。東日本大震災の被災者に対する支援活動として、運動を活用したメンタルヘルスカケアを継続実施する。

### 2. ウェルネス事業

ウェルネス事業では、ウェルネス開発室が科学的な健康づくりサービスを開発・提供し、その成果を広く紹介・活用することによって、健康増進活動を推進する。特に、「健診からはじめる健康づくり」として健診結果に応じたより早期の健康づくり支援を推進し、生活習慣病の予防改善効果を検証する。さらに、がんやメンタルヘルスなど社会のニーズに応える新しい健康づくりプログラムを検討する。加えて、東日本大震災の被災者に対する健康保持を目的とする支援活動を地域と連携して継続実施する。

### 3. 健康調査事業

健康調査事業では、健診センターにおける質の向上と人間ドック以外の健診コースの効率化、ならびに住民健診を推進するための態勢の確立。また、学術室と連携し、これまで以上に健康調査データを活用し、体力医学研究事業ならびにウェルネス事業と協働で健康増進のための学術活動を充実させる計画。加えて、東日本大震災の被災者に対するまごころ健診(無料)を継続実施する。

# XI. 実行計画

## 1. 体力医学研究事業

### 1. コアスタディ「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」

- ア. 基礎実験研究および応用実践研究の推進
- イ. 50周年記念事業の学術書「運動とメンタルヘルス」の発刊

### 2. 学術室との連携活動

- ア. 学術室との連携態勢の構築
- イ. 健康調査事業の研究リソースを活用した仕組みの整備

### 3. 健康医科学研究助成

- ア. 第29回健康医科学研究助成の実施
- イ. 第28回健康医科学研究助成論文集の発行
- ウ. 研究助成論文優秀賞の選定

### 4. 被災者の健康増進支援

- ア. 東日本大震災被災者に対する運動を活用した健康増進支援の実施

## 2. ウェルネス事業

### 1. 「健診からはじめる健康づくり」プログラムの開発

- ア. 血管の健康づくりプログラムの開発
- イ. 女性がん健診受診者の新規プログラムの開発

### 2. 健康づくりプログラムの広報活動推進

- ア. ホームページの充実
- イ. 健康づくり講演会・測定会の開催および講師派遣
- ウ. 学会・講習会への報告および参加

### 3. 学術室との連携活動の推進

- ア. メンタルヘルス改善を目的としたプログラムの開発

### 4. 独自性のある被災者支援活動の展開

- ア. まごころ健診受診者に対する健康支援
- イ. 都内避難者に対する健康づくり支援

## 3. 健康調査事業

### 1. 健康調査データの活用

- ア. 学術室との連携による「メンタルヘルス」に関する問診項目の確立および健康調査事業で得られる各種データの一元化
- イ. 健康調査データを活用した健康情報の提供による受診者サービスの向上
- ウ. 健診スタッフの知識・スキルの向上を目的とした健康調査データの活用（学会報告など）
- エ. 受診者に対するウェルネス開発室で開発された新規保健指導プログラムの提供

### 2. 業務の推進事項

- ア. 契約団体ごとの受診者数増大対策の立案・遂行および新規契約団体（健保）の開拓推進
- イ. 既契約団体および新規契約団体に対する各種健診コースの周知徹底
- ウ. 新規オプション検査（乳腺・甲状腺など）の積極的勧奨
- エ. 新宿区住民健診の推進
- オ. 新宿区に避難している東日本大震災の被災者に対する無料健康診断の継続実施

### 3. 収支均衡化

- ア. 定期健康診断、生活習慣病健診などの健診コースに対応した健診スタッフの効率的配置
- イ. 予約代行会社の健診コースに即した態勢の整備
- ウ. インターネット、モバイルを含めた予約方法の簡便化

## Ⅱ. 平成24年度 収支予算書

＜単位：千円＞

科 費 目	会社計		体力医学研究事業 (公益 1)		ウェルネス事業 (公益 1)		健康調査事業 (公益 1)		法人会計 (一般管理費)	
	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
営業収益(売上高)	100.4	876,000	100.4	137,584	-	52,994	100.7	600,000	100.7	85,422
明治安田生命	100.0	276,000	100.0	137,584	-	52,994	-	-	-	85,422
生命役職員	-	108,000	-	-	-	-	-	108,000	-	-
子会社	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
子法人等	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
関連子法人等	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	492,000	-	-	-	-	-	492,000	-	-
営業費用	100.5	876,813	100.5	140,378	125.9	54,070	109.5	595,208	100.0	87,157
人件費	100.1	479,490	100.1	78,900	110.7	35,145	117.6	333,265	98.9	32,180
(出向者戻入金)	87.6	9,560	87.6	0	-	0	-	6,860	83.6	2,700
(職員給与)	-	206,250	-	60,500	-	24,000	-	102,740	-	19,010
(役員報酬)	-	21,870	-	6,200	-	4,900	-	6,200	-	4,570
(法定福利費)	102.8	42,720	102.8	9,500	102.6	3,620	100.0	27,000	103.5	2,600
(福利厚生費)	106.7	15,700	106.7	2,700	103.7	700	99.9	11,000	107.5	1,300
(その他の人件費)	-	183,390	-	-	-	1,925	-	179,465	-	2,000
物件費	101.5	397,323	101.5	61,478	103.8	18,925	97.1	261,943	101.4	54,977
賃借料	100.0	88,040	100.0	17,136	100.0	8,479	100.0	52,800	100.0	9,625
不動産管理費	100.0	47,229	100.0	5,421	100.0	5,016	100.0	30,940	100.0	5,852
リース料	108.0	15,760	108.0	630	98.7	630	100.8	13,000	108.6	1,500
外注費	-	28,000	-	0	-	0	-	28,000	-	0
研究助成費	-	34,000	-	19,000	-	0	-	15,000	-	0
その他物件費	-	184,294	-	19,291	-	4,800	-	122,203	-	38,000
営業利益・事業別損益	-	- 813	-	- 2,794	-	- 1,076	-	4,792	-	- 1,735
営業外収益	192.0	933	192.0	0	-	500	-	13	100	420
運用収入・雑収入	192.0	933	192.0	0	-	500	-	13	100	420
営業外費用	100.0	120	100.0	0	-	0	-	70	-	50
除却損	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
法人税、住民税、事業税	100.0	120	100.0	-	-	-	-	70	-	50
経常損益	-	0	-	- 2,794	-	- 576	-	4,735	-	- 1,365

## 役員名簿

(平成24年6月11日現在)

理事長	米田克巳	
理事	馬詰良樹	東京慈恵会医科大学名誉教授
	香川芳子	女子栄養大学学長
	蔵本博行	北里大学名誉教授
	栗原敏	学校法人慈恵大学理事長・東京慈恵会医科大学学長
	佐藤安弘	キリンホールディングス株式会社名誉相談役
	芝山秀太郎	鹿屋体育大学名誉教授
	宮坂信之	東京医科歯科大学教授・医学部附属病院長
	貴島政邑	
	須山靖男	
	福島幸彦	
監事	富林和雄	明治安田生命保険相互会社関連事業部審議役

## 評 議 員 名 簿

(平成 24 年 6 月 11 日現在)

浅 見 高 明	筑波大学名誉教授
内 田 賢	東京慈恵会医科大学客員教授
江 橋 博	東亜大学大学院客員教授
大 島 雄 次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
柴 田 博	人間総合科学大学保健医療学部学部長・大学院教授
下 門 顯太郎	東京医科歯科大学大学院教授
上 坊 敏 子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長
菅 原 弘 子	福祉自治体ユニット事務局長
仲 村 英 一	元結核予防会理事長
波 多 健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
三 好 裕 司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長